

平成30年度 保護者懇談会 報告

日 時	【1回目】平成30年7月 7日(土) 午前10時から11時40分まで 【2回目】平成30年7月27日(金) 午後6時から7時30分まで
場 所	日高中学校
出席人数	(1) 保護者等 【1回目】17人 【2回目】4人 計21人 (2) 事務局 【1回目】教育部長 【2回目】教育長 学務課長、学務課課長、適正配置推進室職員
内 容	(1) あいさつ (2) 学校適正配置基本方針の概要について (3) 児童生徒数の将来推計について ()は学級数 (10年後) 日高小 348人(12) 田尻小 372人(12) 日高中 257人(9) (20年後) 日高小 263人(12) 田尻小 281人(12) 日高中 194人(6) (4) 意見交換
【1回目 (4) 意見交換】	
<p>(意見)</p> <p>昨年まで滑川町に住んでいた。日高は全体的に良いといううわさを聞いたので転居してきた。自身は常陸太田市出身で、1学年2学級規模の学校だった。人数は多くなかったが、まとまっていて楽しかった。</p> <p>(意見)</p> <p>子どもが小さいので、学校の様子がよく分からない。参加されている人の意見を聞きたいと思って参加した。</p> <p>(意見)</p> <p>上相田団地に住んでいる。近くには日高小に通う子もいる。 胸章について聞きたい。田尻小は、胸章が見えるように着けているが、日高小は見えないようにしている。防犯上は、見えない方がよいと思う。名前が見えると声をかけられやすい。</p> <p>(質問)</p> <p>学年の人数にバラつきがある。推計上の学年の人数が分かれば教えてほしい。 再編に当たって、具体的な組み合わせが決まっているなら教えてほしい。</p> <p>(事務局)</p> <p>推計は、国立社会保障・人口問題研究所の5-14歳の推計値の率を一律に掛けているので、10年後の学年の人数はアバウトなもの。現在の就学前のお子さんの人数については分かっている。 再編の具体的な組み合わせは決まっていない。内部でのシミュレーションはしている。検討委員会で検討していく。全体像と直近の10年間でどのような動きになるのかをお示ししたいので準備している。具体的には白紙の状態である。</p>	

(質問)

伝えてもらえるのはいつ頃か。

(事務局)

具体的には申し上げられない。検討過程にもよるが、できるだけ早くお示ししたい。いろいろな意見や情報を加味して検討を重ねる必要があるので、できるだけ早くお示したいが、一方では慎重に検討しなければならないこともご理解いただきたい。

日高小の平成31年度に入学予定者数は70人、2学級。32年は78人、3学級。33年は79人、3学級。34年は72人、3学級。35年は63人、2学級。36年は58人、2学級。平成30年5月1日現在の学区内にお住いの人数。今後、転出入があれば変わる。

(教育部長)

団地の造成などがあれば変わってくる。小学1、2年生は35人で1学級なので、学年で36人いれば2学級。1クラス当たりの人数に幅がある。

(事務局)

5月1日が基準日なので、それ以降に増減があってもクラス数は変わらない。

(意見)

学級の人数は、30人以下の方が、指導が行き届いていいのではないかと。人数が減ることが悪いことではないと思う。でも、2学級以上はあったほうがよい。

知り合いの教員から、1学級20人前後で指導しやすいが、単学級なので指導について相談できる人がいないから厳しいと聞いた。できれば81人以上の3学級だと指導する側も余裕が持てて、子どもたちも良い教育ができると思う。

(事務局)

中学校は教科担任制で、学級数によって各教科の先生の配置数が決まっている。9学級あると国語、社会、数学、理科、英語に2人の教員を配置できる。3学年の3学級分を2人の先生で授業をする。学級が減って6学級になると国語、社会、英語の先生が1人になる。1年生から3年生までの全ての授業を1人の先生が行うことになる。学年ごとに教材研究し、授業をすることになるので時間もかかる。その分、お子さんたちの授業の質にも関わる。特に中学校においては、ある程度の学級数を確保していくことを考えなくてはならない。

(教育部長)

さらに、現在は、教員のなり手が減っている。教員採用試験の倍率も下がってきている。職業として人気が無くなってきているのかなと思う。先々を考えれば、教員が十分な体制を取れる規模が重要。

(意見)

保護者として望むことは、学校に楽しく通ってほしいということ。担任の先生に当たり外れがあると聞いているので心配。今のところ、自分は感じていないので恵まれているのかなと思う。

(意見)

小学校の保護者の方に聞いてみると、人数が少なくなって、PTA活動や立哨当番が負担で、特に立哨は、自分の子どもが通らない場所に立たなければならないし、頻度が多いことに驚いている。

副担の在り方が気になる。どのように副担の先生が、子どもたちに接しているのか心配。

(質問)

中学校に入ると、ジャージの名札がフルネームになるのはなぜか。女の子なので心配。ジャージで学校も分かってしまう。

(事務局)

副担任という制度はないが、学級の人数が35人を超える学級に非常勤の先生を1人配置している。茨城県の制度で小学3年生から6年生で35人を超える学級に非常勤講師を配置している。また、日立市の制度で、特別支援学級在籍のお子さんが通常の学級に戻ったときに35人を超える学級に非常勤講師をつけている。学級の人数が多くなることで目が届きにくくなるので、安全の確保や学習の進捗にばらつきが出ないように、2人で学級を見る体制をとっている。

(意見)

日高中は名字だけ。

(事務局)

名札については承っておく。

地域懇談会やアンケートでも、立哨やPTA活動についての意見が出ていた。小さい学校では、PTA活動が大変だというご意見だった。立哨も頻度が多く、仕事を休まなくてはならないこともあって大変だというご意見があった。

(意見)

自身は田尻小、日高出身。当時の半分の人数になっている。子どもが減っているのを実感した。

田尻小学区から日高中学校へ通学するのに40分かかった。統合したら、学校が遠くなって、送迎など大変だと思う。

(意見)

転入してきて半年程度。現状を知る事ができて良かった。再編などの詳細が分かったら、家族と話し合いたい。

(意見)

日高小の保護者の間でいろいろなうわさが出ている。日高小が立て替えられると、田尻小が無くなるのではないかとうわさになっている。田尻小を分けるならバランスよくしてほしい。

統合してもバス通学でも20～30分程度がよい。働いているので、立哨が負担。自宅から遠いところに立つのは大変だ。

先生方から、日高小は素直な子が多いと言われているので、統合等で雰囲気が変わらないようにしてほしい。

統合に当たっては、立哨当番が大変になると思う。細かいところを決めていかなければならない。

小学校低学年のうち最低でも3学級は確保してほしい。今は、1学級34人で大変。25～30人くらいで分けてほしい。

(教育部長)

再編の具体的なことは白紙である。

(意見)

保護者の間では、建て替えるのに再編の話はないだろう。田尻小を分けるのか、豊浦小を分けるのかという話になっている。

(教育部長)

特に小学校を再編する話は大きいこと。小学校区ごとにコミュニティがあるので、小学校を統合するときには2つのコミュニティをどうするのかということにもなる。福祉の施策や避難所、投票所の変更などいろいろ変化することがある。

(意見)

働いている側からすると立哨当番がとても負担。有休をとって立哨している。

(教育部長)

今回のことは、いろいろなことの変わり目だと思う。現在、抱えている課題を、直接皆さんからお伺いすることが、今回の目的の一つなので、受け止めたい。

スクールバスについても、路線バスが使える所と使えない所がある。具体的な組み合わせがないと想定できない。最優先するのは子どもたちの安全。

(意見)

いろいろ考慮して再編していただきたい。

(意見)

教員の配置などの学校運営も大変だと分かった。学級の人数が減れば教育がよくなると思うが、教員の負担にならないようにしてほしい。

(意見)

自身は他県出身。

子どもたちの荷物が重くて、肩こりなどが出ていると聞いているが、実態はどうか。対策はあるのか。

再編は仕方ないと思う。何年後を見据えて再編を考えているのか教えてほしい。

(事務局)

教科書が大きく厚くなっているので、荷物は思い。週末は体操服やシューズの持ち帰りがあるのでさらに荷物が多い。

日立市では入学祝でランドセルを配布しており、これは約500gでランドセルとしては軽いものであるが、それでも重い。都心の学校では置き勉などの対策をしている。日立市で現在取り入れている学校はないが、市教委でも対策しなければならないと認識している。

再編時期の質問について。具体的に決まっていらないが、再編計画の中には、全体像と合わせて10年間で何をやるかをお示しするので、それを待っていただきたい。一般的な目安として、学校を統合する場合、建物に手を入れるかどうかで時期が変わる。早ければ2～3年で統合できる。統合前の準備委員会などで名前や持ち物、PTA活動などについて協議していく。建物に手を入れることになると一般的には4～5年かかる。皆様のご理解を得て、再編をすることになった場合は、子どもたちのためにできるだけ速やかに行うことが大事。時間をかけてしっかり議論をして、決めたことは速やかに行う方向で教育委員会では考えている。

（ 質問 ）

具体的な計画が決まったら、どのタイミングでアナウンスするのか。

（ 事務局 ）

全体計画を周知することになる。全体計画をお知らせする機会を設けるのでイメージはしていただけたらと思う。その後、地域に説明したり協議会を設置したりして、具体的なスケジュールができてくると思う。市が一方的に決めるのではなく、皆さんと共に進めていきたい。

（ 意見 ）

櫛形小がマンモス校で、日高小は少なくていいと聞いたので転居した。

自宅近くで道路工事があるらしく、説明会があると聞いた。車が1台通れる程度なので拡幅するらしいが、工事の始まる時期を教えてください。通学路の安全を確保してほしい。

（ 事務局 ）

通学路は、学校とPTAやコミュニティと安全点検をしていて、対策は順次とっている。道路の改良工事については、申し訳ないが承知していない。説明会で確認してほしい。

（ 意見 ）

県内の自治体で、統合を行ったがスクールバスの維持が大変だという新聞記事を読んだ。再編が具体的に進んでいるのか不安になって懇談会に参加した。

（ 事務局 ）

子どもたちのための環境を考え、検討に着手をしたということ。

（ 意見 ）

再編の内容が気になって参加した。住んでいるところは、学区の境で、滑川中に行っている子もいるし日高中に行っている子もいる。

支援学級在籍の子がおり、滑川中の支援級より日高中の支援級の方がよいと聞いたので、日高中の懇談会に参加した。皆さんの意見をたくさん聞いて良かった。

（ 質問 ）

どこの会場でも同じ話をしているのか。

（ 事務局 ）

児童生徒数などは地区ごとに違っているが、基本的な説明は同じ。

(質問)

中学校同士を統合した場合、上の子は日高中に通っているが、統合で下の子は別の中学になる場合、転校はどうなるのか。学区の境に住んでいるが、どこの中学に行くか決まりはあるのか。変えたいときはできるのか。

(事務局)

日立市の小中学校は学区制を敷いているので、住まいによって学校は決まっている。事情があって学校を変更したい場合は、申請を審査して許可している。

以上

【2回目 (4) 意見交換】

(質問)

統合に賛成している地域はあるか。人口の減少を止める施策の方が重要だろう。

(事務局)

アンケートでは、どの地域でも6割以上が統合も仕方ないという回答だった。

(教育長)

人口減少を止める対策は、もちろん市を挙げて取り組んでいるが、学校の再編や教育環境の整備とは別の行政課題だと考える。

アンケートの答えとしては、全体としては仕方ない。しかし、自分の地域となると違って来るだろうと思う。

(質問)

アンケートとは別に、懇談会をしてみた印象はどうか。

(教育長)

昨年までは地域の方が多く参加してくださり、学校が無くなっては困るというご意見が多かった。そういった意見の中で、保護者が声を上げにくい雰囲気があったので、今年は保護者の方の声を聴く機会を持った。

(事務局)

保護者の皆さんからは、統合も仕方ないと思うが、通学の安全は確保してほしいというご意見が多かった。

統合に関わらず、子どもたちの環境を良くしてほしいという思いは伝わってきている。

(意見)

統合によって通学距離が延びる。2.5 kmで疲れている子どもがいるのに4 kmはとても歩けない。スクールバスでは運動量が減る。

授業内容からも統合が望ましいというが、ネットを使つてのサテライト授業などができる。部活動こそ統合して取り組んだほうがよい。学校を統合する必要はない。

(教育長)

別の会場での懇談会でも、反転授業などに取り組んではどうかというご提案をいただいた。いろいろ研究していきたい。

部活動は、現在でも他校との合同チームで試合に出たりしている。

(意見)

学区境に自宅があり、どちらの小学校にするか迷っている。中学校は日高中学区なので日高小にしようとは思っている。中学校までは徒歩30分くらい。上の子たちは田尻小から日高小に行き、方向が反対だったので、遠く感じたようだ。日高小・日高小なら同じ方向に向かうので、あまり感じないのではないかと思う。

(意見)

途中で休憩しながら帰ってくる。荷物が多い時や雨の時は送ってほしいと言われる。田尻小までは徒歩20分。仲の良い子は滑川中学区なので離れてしまう。中学校が選べればよかったと思う時期もあった。

(意見)

暑い時期は、汗をかいてしまうので着替えを持って行ったりしなければならない。

(質問)

再編を目指す時期はあるのか。

(教育長)

具体的には決まっていない。計画の中で、直近の10年間に取り組む内容を示したいと考えているが、10年後に完成形にはならないだろうと思う。例えば、統合をする場合に1校当たり3年程度はかかる。20年後を見据えた10年間に何をするか。10年後の形の提案をしたい。

(事務局)

学校の再編は人数だけではない。目指す姿はできたが、そこに満たないからといって、学校が統合されるというわけではない。

懇談会でいろいろなご意見を伺って、再編を考える上で気づかされることも多い。

(意見)

広く意見を聞きたいと言いながら、子どもが学校に行っている時間に懇談会をやっていない。今回は会場が指定されているが、今日の内容なら指定しなくてもよかったのではないか。都合の良い時に行ければよかった。開催時間はいろいろの方がよかった。学校では駐車場もないから、支所の方がよかった。夕方の6時というのは難しい。

(教育長)

保護者間でのやり取りなどもあるかと考え、学区ごとにさせていただいた。地域ごとのいろいろな話を、掘り下げて聞いてみたかった。

(意見)

再編は、一気にではなく、じわじわと、いろいろな方法を試しながら取り組んでほしい。

(教育長)

子どもたちが急激に減り、一方でICTの発達などで、子どもたちを取り巻く環境が劇的に変わってきた。対応が追い付かない事柄もある。

(意見)

子どもが劇的に減り環境が変わるから、再編を劇的にやらなければならないということではない。

(教育長)

同じ学区内で偏りがあるところもあり、スクールバスを運行してはどうかなどの意見もいただいた。これまでの日立市では、町中の小中学校にスクールバスを導入することは考えられなかった。他にも、これまで考えていなかったことも考えていかなければならないかもしれない。

(事務局)

統合によって通学距離が延びたり、精神的に不安定になったりという事例も他市町村では報告されている。統合前の交流など、子どもたちには負担をかけずに取り組みたい。他市の事例でも、準備期間を設けて取り組んでいる。

(教育長)

子どもたちが少なくなっている所では、学校を統合することが当たり前になっていて、早く統合してほしいと住民から要望が出る市町村もある。

(意見)

最近、5月の連休のころから暑い。会社のクールビズも5月から。衣替えは6月でなくても、1か月くらいの幅を持たせてもよいのではないか。体操服で通学してもよいことにしてくれたら、制服を着ていなくてもよい。

荷物も多く、子どもたちが腰痛にならないか心配だ。置き勉なども考えて、荷物を減らしてほしい。海外では、教科書は個人のもではなく、共有するもので、学校で保管して生徒に貸出している。

(事務局)

家庭学習のために持ち帰らせている。資料集や地図帳などは持ち帰っていない。

市内ではないが、置き勉をしている所もある。しかし、盗難が心配なので持ち帰りが原則である。荷物が多という声は多く、改善の必要はあると考えている。保護者と話し合う必要もあるだろう。

(意見)

盗難が心配なら、教科書は学校で個別にストックしておけばよい。教室に鍵をかけてもよい。そもそも、再編されて通学距離が長くなったら、家庭学習を4教科や5教科できる時間があるのか。今日は国語と算数を持ち帰るとか、日によって分けてもいいのではないか。

(意見)

学校や教育委員会で考えるということにすると、決まるまでに時間がかかる。先生ごとの判断でいいのではないか。すぐにでも取り組まないと子どもがかわいそう。

(事務局)

社会的にはクールビズなどの取り組みもある。柔軟に対応したい。

(意見)

荷物が多いことは心配。

(意見)

肩に汗もができていることがある。帰ってすぐに着替える。

(教育長)

来年に向けて、急ぎ検討したい。

(事務局)

部活動の統合についてのご意見があった。中学生にとって部活動の意義は大きい。学級の友達とは違った仲間とのふれあいや先輩後輩など、人間関係を学ぶ機会でもあり、達成感も得られる。勉強でうまくいかなくても部活動で活躍の場があるなど、指導上も意義が大きい。

野球やサッカーなど、他校との連合チームで試合には出られるが、日常的な練習となると隣の学校でも難しいのではないか。冬場などは暗くなるのが早く練習時間が取れないし、練習のための移動手段も難しい。

以上

※ 始めと終わりのあいさつと資料の説明は、記録を省略します。